

## 研究内容の説明文

|                            |  |
|----------------------------|--|
| 献血者説明用課題名<br>(括弧内は公募申請課題名) | 自己免疫疾患で起こる「免疫細胞のはたらき」の異常<br>How Immune Cell Functions Are Altered in Autoimmune Diseases<br>(自己免疫性疾患のバイオマーカーとしての血液細胞の解析) |
| 研究開発期間 (西暦)                | 2026年4月～2029年3月  |
| 研究機関名                      | 岡山大学 学術研究院 医療開発領域  |
| 研究責任者職氏名                   | 助教 渡辺 晴樹   |

## 研究の説明

- 研究の目的・意義・予測される研究の成果等  
 自己の免疫によって自分が攻撃される自己免疫性疾患の患者さんの治療法は未だ確立していません。どの細胞のどのような働きが異常をきたして自己免疫性疾患が引き起こされるのかは、正確にはまだ分かっていません。このような疾病の研究において健常な細胞と病気の細胞を比較して初めて病気での細胞の働きの違いを明らかにすることができます。本研究では、自己免疫性疾患においてどのような細胞の機能が損なわれているか、どのような分子が病気の原因となりうるかを解明します。将来的には治療薬の開発をめざします。
- 使用する献血血液の種類・情報の項目  
 献血血液の種類：白血球除去工程後のフィルター  
 献血血液の情報：なし
- 共同研究機関及び研究責任者氏名  
 共同研究機関はありません。
- 献血血液の利用を開始する予定日  
 2026年6月1日
- 研究方法《献血血液の具体的な使用目的・使用方法含む》  
 献血血液のヒト遺伝子解析：■行いません。 □行います。  
 《研究方法》  
 いただいた白血球除去工程後のフィルターから血球細胞を分離します。これらの細胞が作る免疫物質を測定するとともに、細胞同士の相互作用など免疫のはたらきを評価し、免疫の病気と診断された方の細胞と比較することで病気の原因を明らかにします。なお、本研究で用いる免疫疾患患者さん由来の細胞は献血血液ではなく、病院において患者さんからご提供いただいたものを使用します。  
 また、本研究により、献血者の疾患等の健康状態に関わる情報が得られることはありません。
- 献血血液の使用への同意の撤回について  
 研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。

## 7 上記 6 を受け付ける方法

「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

受付番号

R080029

本研究に関する問い合わせ先

|      |                         |
|------|-------------------------|
| 所属   | 岡山大学 学術研究院 医療開発領域       |
| 担当者  | 渡辺 晴樹                   |
| 電話   | 086-235-7234            |
| Mail | harukiw@okayama-u.ac.jp |